

アカエゾマツ西限保護林

所在地：磯谷郡蘭越町港町

林小班：158林班04小班

面積：20.00ha

指定年月日及び番号 昭和50年10月31日

設定目的

本邦アカエゾマツ生育地としては最西限で、北海道においては最南部アポイ岳に位置するアカエゾマツ純林で、過去においても一度も人為的な施業もなく原始林を保っている。



地況

標高：600～800m

方位：S

傾斜度：20° / 15～30

地形区分：中腹上部～峰通り

地質：第四紀輝石安山岩

土壌：Bd

林況

上層を占める樹種は、アカエゾマツが多く、トドマツ・ダケカンバ・シナノキ・ナナカマド等で、下層にはハナヒリノキ・ムラサキヤシ・オツツジ・ツルシゲ・オオカメノキ・コヨウラクツツジ・ノリウツギ・アカミノイヌツゲ・ハイイヌツゲ・ミヤマハンノキ・ツノハバミ等が育生し、林床にはササ類が優先している。

ha 当たり本数： 200～300本

蓄積： N102m³ L 23m³ To 125m³

平均直径： 30cm / 6～100 平均樹高： 16m

施業の沿革

大正11年公有林として国より譲渡を受け、同年第一次編成案において施業外地（停伐林）として現在に至っている。したがって、過去に伐採等の施業経過無し。

